

Team Shimano  
**社会活動報告書**  
[2011.1.1-12.31]



**SHIMANO**

## 社会活動報告書 発刊にあたって



人と自然のふれあいの中で、新しい価値を創造し、健康とよろこびに貢献する。これが、私たちチームシマノが片時もわすれてはならない当社の使命であり、当社の存在意義であります。

社会的にも、経済的にも、大変な出来事が相次ぐ厳しい状況の中、企業に対してはますます基本的なあり方が問われ、明解な企業価値の追求が求められております。当社では、そうした企業環境のもと、日本発の開発型製造業としての基本を見失わず、魅力ある新製品をお客様にお届けすることを真摯に実行してまいります。

ほんとうに多くの皆様に支えられながら、当社は2011年3月、創業90周年を迎えることができました。今後も創業からの志をわすれず、これからもころ躍る製品の開発を通じて、自転車文化、釣り文化の高揚に貢献できる「価値創造企業」であり続けたいと思います。

こうした考えのもと、私共としましては、企業市民としての責任と役割をわきまえ、背伸びせず肅々と、身の丈にあった活動を「継続」することで、社会に広く貢献してまいります。

この報告書が皆様方に当社をご理解いただく一助となれば幸いです。

株式会社シマノ  
代表取締役社長  
島野 容三

社会活動報告書 発刊にあたって ..... 3

企業価値の向上を目指して ..... 4

ころ躍る製品を  
シマノを支えるひとづくり  
内部統制の強化

喜びの高揚 ..... 8

自転車博物館 サイクルセンター  
フィッシングカフェプロジェクト&シマノTV  
ライフ・クリエーション・スペースOVE(オーブ)  
その他の活動

利用環境の改善と保全 ..... 14

シマノグリーンプラン  
身近な環境に対する取り組み  
環境負荷低減への取り組み  
社員への自転車通勤促進  
その他の活動

信頼の構築 ..... 20

子ども達と学び考える  
安全で楽しい自転車利用を目指して  
企業市民として  
創業90周年を迎えて  
義援活動  
地域の一員として

社会活動報告書を読んで ..... 26

チームシマノ基本理念 ..... 27

# 企業価値の向上を目指して

—— ころ躍る製品を

当社の事業活動の基本は、「ころ躍る製品」を社会に提供することです。

使いやすく、快適に走行できる自転車部品、テクノロジーと感性が融合した釣具に加え、ウェアやシューズなど、その楽しさをより広げる製品をお届けすること。

そして自然とともに楽しむサイクリング、フィッシングの素晴らしさを伝えることで、お客様のライフスタイルをより豊かなものにしていきたいと考えています。

## 自転車部品事業

■ エレクトロニック・シフティングのさらなる進化、さらなる広がり  
エレクトロニック・シフティングシステムを採用し、レースの世界で優れた性能が実証されたロードコンポーネッツDURA-ACE 7970シリーズ。

その性能を磨き上げ、より身近な存在として誕生したのがULTEGRA 6770シリーズです。圧倒的なストレスフリーを誇るこのシステムは、シフティングの未来を大きく広げようとしています。

### ■ 進化したMTBコンポーネッツ「DEORE XT」

MTBコンポーネッツ「DEORE XT」に、高効率なパワー伝達が持続するリア10スピード・ドライブトレインがラインアップしました。最上級グレードの先進テクノロジー Dyna-sysが正確かつ負担の少ないライディングを実現します。

### ■ ロードコンポーネッツ「Tiagra」の10スピード採用

エントリーライダー向けのTiagraが上位モデルを継承し、リア10スピードコンポーネッツとしてフルモデルチェンジしました。セルリアン・シルバーを基調とするスポーティーでカジュアルなデザインで、ツーリングをはじめとする幅広いライディングシーンに対応します。



## 釣具事業

### ■ ICASTで10年連続の受賞

アメリカの業界向け釣具展示会「ICAST」において、当社のロッドが10年連続の受賞を果たしました。

### ■ EFTTEXの2カテゴリーで受賞

欧州の釣具見本市「EFTTEX」にて、「エアロテクニウム Mg XSB」と「パワープロSuper 8 Slick」がそれぞれのカテゴリーで受賞しました。

### ■ イノベーションアワードの受賞

フランスで行われた釣具展示会「Salon Européen des Pêches en Mer」で、「STELLA FE」がイノベーションアワードを受賞しました。



計3モデルのシマノフライフィッシングロッド賞製品が受賞しました



ベスト・ニュー・スピニングリール「エアロテクニウムMg XSB」

## STELLA



革新的ギアシステムX-SHIPを搭載したスピニングリールSTELLA。最高峰の回転性能を実現します



## ライフスタイル ギア事業

### ■ iFデザイン賞の受賞

全世界の工業製品等を対象に優れたデザインを選定するiFデザイン賞で、当社のウェアブランド「ACCU-3D」のウインドブレーカーが金賞を受賞しました。



## ボート事業

### ■ 世界記録を更新した「SRD」システム

オランダ アムステルダムで行われた2011年のボート競技(ロウイング)U23(23歳以下)の世界選手権。そこでシマノ製品「SRD」(シマノ・ロウイング・ダイナミクス)を使用したドイツ代表のペアが、オリンピックの正式種目であるW2x(女子ダブルスカル)において、U23の世界記録で優勝しました。





新入社員を対象とした研修(シマノクンシャン：中国)

### 研修制度

当社では組織を支えるひとづくりを世界中の拠点で進めています。当社の共通語である英語を中心とした語学研修をはじめ、各自の技術を高めるものづくりに関する専門的な研修など、選択できる内容は多岐にわたります。これらの研修を通じて、日々の業務で役立つ思考法や、専門知識の習得をサポートしています。

### 新入社員研修

#### ■ 経験・実践を重視

講義に加え経験・実践を重視したカリキュラムを行っています。



チームで行動する大切さを学ぶチームビルディング



現場で釣りの楽しさを知る体験



自社製品が生み出す楽しさを知る機会としての自転車実走



当社の基盤である、ものづくりの現場を学ぶ

#### ■ 全世界で理念を共有

通年採用を行っている海外拠点では、新たに加わった社員に対して、当社の歴史や企業理念を理解してもらう新入社員研修を行っています。当社社員はチームシマノの一員として、全世界共通の理念のもと、考え、行動します。シマノカンボジアでは、新人研修をはじめ、全社員を対象に、専門家を招いて様々な研修を行いました。



シマノカンボジアでの研修風景

### グローバルな視点の育成

#### ■ 目に見えない現場力の習得

当社では、「広い経験」を積むために、社員をSLD(シマノ・リーダーシップ・デベロップメント)活動を通して、世界の販売店に派遣しています。これは世界各地の自転車および釣具販売店様のご協力を得て、約3ヶ月間現場で働き、その体験を通じて、その土地の文化や仕事を学ぶプログラムです。2011年は、本社の社員のみならず、シマノコンポーネンツマレーシアの社員をオランダに派遣しました。

'01年スタート



#### ■ 技能実習生の受け入れ

当社では海外拠点から技能実習生を受け入れています。各担当部署での技術・知識の習得に加え、チームシマノの仕事とモノの流れを学ぶ実習を年2回開催。販売の現場に出向き、自国で担当していた製品が店頭で並ぶ様子を見学するなど、世界に広がるチームシマノの一員としての役割を自覚する機会も設けています。



#### ■ 語学教育の推進

チームシマノの中で、日本語が話せる社員は、約1割。コミュニケーションを行う上で、外国語を必要とする場面が多く、当社では共通語となる英語をはじめ、中国語研修などを行っています。



### 内部統制の強化



#### ■ 財務報告に係る内部統制

2006年の「金融商品取引法」成立を背景に、当社では2007年に内部統制推進室を立ち上げました。企業は社会的責任を果たし「透明性が高く効率的な経営」を行うことが近年さらに強く求められています。それぞれの部署の「業務遂行」の適正と「コンプライアンス」の状況を監査することを目的とし、2011年より、2つの部署間でお互い監査しあう「クロスチェック」の方法を採用しております。

'06年スタート

#### 「クロスチェック」手法のポイント

- 類似性、近接性のある部署同士でペアを組む(監査員：課長)
- 業務改善についての意見交換を効果的に行うことができる
- 監査される側として、改善指摘に真摯に対応するとともに、監査する側として、他部署で実施しているリスク対応や管理方法を学び、自部署に反映することができる



# 喜びの高揚

—— 人々に楽しみと喜びを提供する



シマノフェスタ2011 (ブラジル)

こころ躍る製品を通じて、自転車、釣りの楽しさをより多くの人々に広げること、当社の重要な活動のひとつです。トップアスリート、プレイヤーの最高のパフォーマンスを目の当たりにできるイベント。ビギナーの方にわかりやすく、安全な楽しみ方を理解していただくための講習会。日本国内はもちろんのこと、世界各地で様々な取り組みを展開しています。

自転車博物館で開催されている自転車乗り方教室(日本)



シマノバイカーズフェスティバル(中国)

## 自転車博物館 サイクルセンター



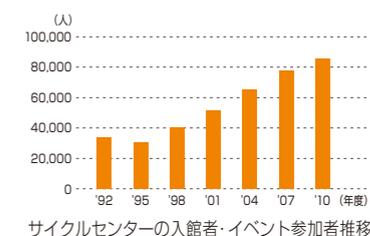
'92年スタート



自転車の発展史を学べる展示場

堺市に1992年に開館した自転車博物館サイクルセンター(運営:公益財団法人シマノ・サイクル開発センター)。国内で唯一の自転車専門の登録博物館として、自転車が発明された1818年のドライジーネ(レプリカ)から北京オリンピック出場ロードレーサーまで、約300台を保有。自転車の展示だけでなく、自転車のあるライフスタイルを提案するための各種サイクリングイベントや講習など、様々な活動を行っています。

アクセス: JR阪和線「百舌鳥」駅から徒歩10分  
〒590-0801 大阪府堺市堺区大仙中町18-2  
Phone: 072-243-3196



サイクルセンターの入館者・イベント参加者推移

## 様々なサイクリングイベントを開催

'97年スタート

### ■ 自転車でもタボ予防改善コース

自転車での運動に加え、食事内容を見直すことで、健康の維持・向上を図る3ヶ月間プログラム。メタボ予防という目的だけでなく、自転車で人生を楽しく豊かに過ごしていただくことを目指します。

### ■ サイクリングイベント

初級者から上級者まで、レベルと目的に応じたサイクリングイベントを開催しています。

- ・自転車散歩: 初心者向けに10km程度をゆっくり走ります
- ・健康サイクリング: 中級者向けに20~30km程度のアップダウンのある道を走ります
- ・ロードバイクセミナー: ロードバイク初級者向けにポジション、坂道走行、コーナリング・ブレーキ操作を実走しながら体験します
- ・マウンテンバイクセミナー: マウンテンバイク初中級者向けに15~20km程度、未舗装路を中心に走ります
- ・女子ポタリング: 女性限定のサイクリングイベントで、グルメ、カルチャー、ビューティーアップをキーワードにしています
- ・自転車ライフセミナー: これからサイクリングを楽しむ方のために、サイクリング時のトラブルシューティングを学びます



女子ポタリング

## こども絵画コンクール

'92年スタート



作品募集期間中は、写生目的の入館を無料にしています。館内には写生台を設置

未来を担う子ども達を対象に観察眼や創造力を養ってもらうため、身近な自転車を主題とした絵画イベント。1992年にスタートし、第20回目を迎えた2011年は36,914点もの応募総数を数え、さらに大規模なコンクールへと成長しました。



家族連れで賑わう入賞作品の展示場

## フィッシングカフェプロジェクト&シマノTV



### ■ フィッシングカフェプロジェクト

'00年スタート

長年釣りに親しんできた人から、これから釣りを始めてみようという人まで、すべての釣りが気ままに交流し、新しい釣り文化を創造していく「フィッシングカフェプロジェクト」。春・夏・冬と年3回発行される雑誌と、CS番組のスカパーフェクTV・釣りビジョン\*で放送されるテレビ番組、最新情報をお届けするウェブサイトを通じて、釣りをめぐる様々な話題や情報を発信しています。取り上げるテーマは文学や、美術・芸術、社会、教育、自然、環境など多岐にわたり、釣り人以外の方々にも奥深く、心に響く釣りの世界に触れていただくことを目指しています。

\* 2012年3月1日より「BS釣りビジョン」として放送を開始しています。

### ■ シマノTV

'07年スタート

ウェブコンテンツとして24時間365日楽しめる、世界規模のフィッシングチャンネル「シマノTV」。TVで放送された人気の釣り番組はもちろん、ジャパンカップなど当社主催の多彩なイベント映像、インストラクターによるデモンストラーション映像、その他ここでしか視聴できない希少映像を配信。さらにこれから釣りをはじめたいと思っている初心者のためのコンテンツも加わって、内容がより充実。ビギナーからベテランまでお楽しみいただけます。

またスマートフォンによる閲覧が可能で、Twitterなどソーシャルネットワークでも共有できます。さまざまなメディアを通じて、これからも釣りの魅力を世界中へ発信していきます。

フィッシングチャンネル「シマノTV」  
http://tv.shimano.co.jp/



「シマノTV」のためだけに撮影された完全オリジナル番組「いつでも釣り気分!」を随時配信

## ライフ・クリエーション・スペース OVE (オーブ)



'06年スタート

OVEは、ゆったりと、豊かな自転車ライフを送っていただくため、新しい自転車文化の発信基地として、活動しています。

OVEにとって6年目を迎えた2011年は、これまで自転車にあまり関心のなかった方に自転車のある生活を伝えていく「ライフクリエーションスペース」として、しっかりと成長を感じる一年でした。カフェスペースは、ランチ時には非常に多くのお客様にご利用いただき、週末には満席になる日も多くなりました。

また木に包み込まれた心地よいOVE空間では、たびたびミュージックライブを開催、たくさんの聴衆の熱気の中、ジャズやボサノバに始まり、クラシックコンサートまで、ミュージシャンの皆さんと一緒に、こころ躍る時間を過ごすことができました。自転車でゆっくり景色を慈しみ、訪れた街で絶品の食事を参加者全員で楽しむ「散走」はすでに多くの方の知るところになり、リピーターの参加はもとより口コミでその輪が広がるようになりました。また暑い夏の夜のナイトライドにも注目が集まりました。



自由な気持ちでのんびりと自転車との時間を楽しむOVE散走



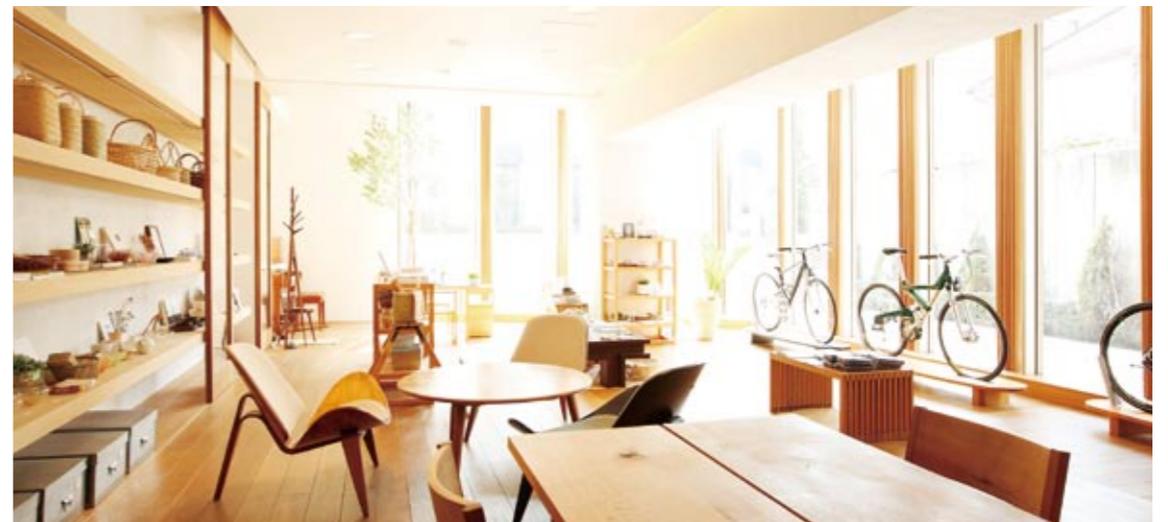
健康・環境を意識したランチメニュー。毎週取り寄せている完全無農薬・有機栽培の野菜は味が濃く、野菜本来の味が楽しめます

## OVE

アクセス：東京メトロ銀座線・半蔵門線「表参道」駅 または「外苑前」駅から徒歩8分  
〒107-0062 東京都港区南青山3-4-8 トレディカーサ1階



ミュージックライブなどの様々な文化にも触れることができるOVE空間



イベントの主催・協賛

世界各地で自転車や釣りのイベントを開催し、また協賛しています。

■ 自転車イベント(主催)

-  シマノ鈴鹿ロードレース (日本) '84年スタート
-  バイカーズフェスティバル (中国) '03年スタート
-  シマノショートトラック '09年スタート
-  シマノバイカーズフェスティバル (日本) '91年スタート
-  シマノカップ (中国) '09年スタート
-  OPEN SHIMANO (アルゼンチン) '08年スタート



バイカーズフェスティバル(中国)  
中国でイベントの協力を始めて8年目。  
「サイクルスポーツ」の認知が広がってきています



シマノ鈴鹿ロードレース(日本)



シマノバイカーズフェスティバル(日本)



シマノショートトラック  
'11年より、ブラジル・アルゼンチン・チリ・コロンビア・パナマ・コスタリカ・メキシコの7ヶ国で開催



OPEN SHIMANO (アルゼンチン)

■ 釣りイベント(主催)

-  シマノジャパンカップ (日本) '84年スタート
-  シマノ杯へら釣り大会 (中国) '02年スタート
-  シマノ鱗海カップ (香港) '02年スタート
-  シマノカップ韓国へら釣り大会 (韓国) '07年スタート
-  シマノ台湾磯釣り大会 (台湾) '05年スタート
-  キッズフィッシング (オランダ) '11年スタート



シマノジャパンカップ(日本)



シマノ台湾磯釣り大会(台湾)



シマノ杯へら釣り大会(中国)



シマノ鱗海カップ(香港)



キッズフィッシング(オランダ)  
子ども達に「釣り」の楽しさを知ってもらうイベントを、オランダで開催しました

■ 自転車・釣り複合イベント(主催)

-  シマノフェスタ (ブラジル) '10年スタート



■ 自転車イベント(協賛)

-  Shop-in-shop 主催イベントへの協賛 (中国) '03年スタート
-  黄山国際 Mountain Race (中国) '11年スタート



黄山国際 Mountain Race (中国)



Shop-in-shop イベント(中国)

■ UCIパートナーシップ



UCI (国際自転車競技連合) のオフィシャルパートナーとして、世界の自転車競技、サイクルスポーツ文化を支援しています。'99年スタート

■ レーシングチーム

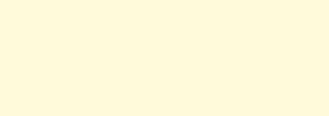


シマノレーシングや本場ヨーロッパプロチームであるスキル・シマノ (2012年はProject 1t4iとして活動) を通じて、アジアの若手選手を育て、世界のトップレベルのレースへ挑戦する機会を作っています。'72年スタート



スキル・シマノ所属の土井雪広選手が  
スペイン1周レース「ブエルタ・ア・エスパーニャ」  
に日本人として初出場し、完走を果たしました

■ テクニカルサポートの派遣



トップレベルのプロレースだけでなく、幅広いサイクルスポーツイベントにサポートカーと社員を派遣。参加者の皆様に安全に楽しんでいただくことを第一に、テクニカルサポートを行っています。



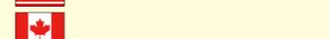
世界中でサポートを行うシマノのテクニカルサポート (写真は中国)

■ 自然公園内での自転車道の整備



シマノアメリカンおよびシマノカナダでは、自転車走行が自然に与える影響を抑えるため、科学研究データに基づいて適切に整備された自転車道の有効性を検証する活動に協力しています。

■ 水産資源の適切な利用



シマノアメリカンおよびシマノカナダでは、多くの漁業団体や政府代表と協働で、漁業管理政策の成立に取り組んでいます。科学的根拠に基づいた実用的な水産資源利用策の作成に協力しています。

# 利用環境の改善と保全

—— 自然環境、生活環境、製品利用環境の改善と保全への協力



アウトドア・スポーツを楽しむためのフィールドである地球環境を保全するためにたゆまぬ努力を続けることは、当社の基本的な命題です。製品をつくる過程において環境負荷を抑えるため、技術改良・革新に日々取り組むとともに、フィールドの清掃や環境改善活動へも積極的に参加しています。



## シマノグリーンプラン



'04年スタート

より環境負荷の少ない製品づくりを目指して常に見直しを図っているシマノグリーンプラン(以下SGP)。2011年度には第8版を発行しました。

### ■ 改訂の目的

- ・取引先様と当社間のSGP管理に関する理解のギャップをなくし、SGPの順守レベル向上を図ります
- ・SGPに関する業務プロセスを見直し、取引先様、当社双方の業務効率化を図ります

### ■ 主な改訂内容

1. 最新法規制に応じて禁止物質を追加
2. REACH規則(EU)に対応するため、管理物質という分類を追加
3. 禁止・管理物質リストを見やすく、参考資料を分かりやすく改善
4. セルフチェックシートを分かりやすく、項目を整理して改善
5. インターネットによりSGP文書を取引先様へ配信

これまでシマノグリーンプランは、各国法規制、顧客要求、そして各業界基準を順守することで全世界に向けて安心して販売できるよう、製品含有化学物質を管理してきました。

第8版の改訂は主に順守性の向上を目的とし、法規制や市場の要求に応えるべく、第7版発行以来挙がってきた問題点を洗い出し、改善方法を検討し、反映しました。これからも安心してお使いいただける製品を提供できるようにSGPを継続し、当社製品を支える取引先様の皆様と共にレベルアップのための取り組みを続けてまいります。



取引先様向けの説明会(日本)

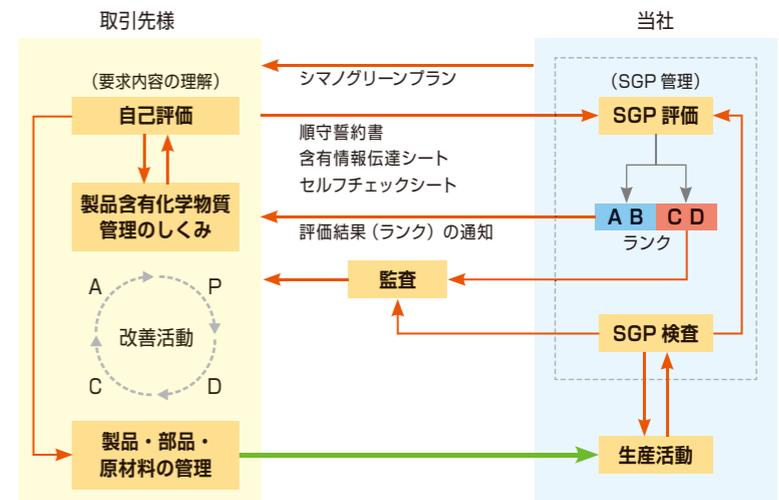


当社製品に禁止物質が含まれていないことを保証するために、専門家が機器を使用して入念に検査しています(シマノクンジャン：中国)



禁止物質を含まない製品の生産を目指し、SGPを実行し始めて今年で7年目。禁止物質に関する新情報を共有するために、品質管理部門では毎月ミーティングを行っています(シマノクンジャン：中国)

### シマノグリーンプランの管理フロー



情報の流れ →  
部材の流れ →

● 大和川クリーンアップ&大和川ヨシ刈り

'01年スタート

本社所在地である堺市の皆様とともに「大和川クリーンアップキャンペーン」「大和川ヨシ刈り」などの清掃活動に、当社の社員がボランティアとして協力しています。「大和川ヨシ刈り」では77名、「大和川クリーンアップキャンペーン」では、173名が協力しました。



大和川クリーンアップキャンペーン



大和川ヨシ刈り

● ヨシの有効利用

当社が発行する一部冊子や名刺にヨシの繊維を混ぜた用紙を使用しています。ヨシを植え付け、水中の窒素やリンを吸ったヨシが枯れて朽ち落ちる前に刈り取ります。その刈ったヨシを使った紙を使用するサイクルをつくることで、環境負荷低減を目指しています。(本冊子も琵琶湖のヨシを混抄したレイクパピルスを使用しています。)



● 里海公園の清掃活動

'02年スタート

発生源からゴミを減らし海洋汚染を改善する「国際ビーチ・クリーンアップ・キャンペーン」。この運動に賛同し、日本ではせんなん里海公園(大阪)で行われた清掃活動に、当社からは合計253名が参加しました。



● 「Million Tree Project」の活動

'09年スタート

中国のシマノクンシャン、シマノテンシンの社員が、2014年までにモンゴル砂漠地帯に100万本の木を植える「Million Tree Project」に参加しています。シマノとして4,000本の木を寄贈し、現在まで678,355本の木が植えられました。若木の生長を願い、積極的に育成作業に参加しています。



● 環境教育のサポート

'06年スタート

本社所在地である堺市の小学校を訪問し、牛乳パックをリサイクルした紙漉きの授業を行っています。大和川の清掃活動も含め、これら一連の活動によって幼少期からの環境教育の一端をサポートしています。



環境負荷低減への取り組み



照明器具の間引き点灯を行うなど、使用電力を削減しました(シマノ本社)



「平成23年度 エネルギー管理優良事業者」として表彰式に出席(シマノ下関工場)

省エネ対策

2011年度は夏の電力事情を受け、当社は7月1日から9月22日までの間、最大電力(ピーク時の電力使用量)カットに取り組みました。「照明の間引き」「エレベーター使用台数制限」「空調の省エネモードの徹底」など地道な対策を積み重ね、この期間の事務所部門の最大電力は、2010年の1,196kWに対して2011年の1,087kWに低減しました。(削減率9.1%)

下関工場でも定期的に省エネ対策の効果の検証を行い、「エネルギー原単位」(エネルギー効率を示す単位)が過去6年通しての減少に成功しました。そうした実績が評価を受け、中国経済産業局長より「平成23年度エネルギー管理優良事業者」として表彰を受けました。またCO<sub>2</sub>排出量の削減のために工程の適正化等の対策を講じ、年間148.2t削減を達成しました。



炉の高温断熱塗装によって、熱損失が改善し、年間50tのCO<sub>2</sub>の削減に成功しました(シマノ下関工場)



照明をLEDに変更し、使用電力を月間1625.4kWhから813.6kWhに削減しました(シマノクンシャン：中国)

'99年スタート

## 社員への自転車通勤促進



### BIKE TO WORK

'98年スタート

シマノアメリカンでは全米で実施される自転車通勤週間にあわせ、「BIKE TO WORK」イベントで一層の自転車通勤を社員に呼びかけています。



### エコ通勤優良事業所

'09年スタート



本社が実施している自転車通勤推進の取り組みは、交通エコロジー・モビリティ財団から「エコ通勤優良事業所」として認定されています。この認定に基づく取り組み目標として、当社ではマイカー通勤によるCO<sub>2</sub>排出量を対前年(2010年)比で毎年1%ずつ減らすことを計画に盛り込んでいます。

2011年は、目標値6,608kg削減に対し、約6倍の41,436kg削減を達成することができました。2012年も引き続き、環境負荷低減活動に積極的に取り組みたいと考えています。



自転車置場の整備や、汗を流す入浴施設と共に自転車通勤手当など制度面でも自転車通勤を推進しています

## その他の活動



### 植林活動

シマノコンポーネンツマレーシアの社員がジョホール市ボンティアンで125本の木を植えました。'04年スタート



### アース・デイ活動

シマノアメリカンの社員が、4月の「アース・デイ」に環境美化活動を行い、様々な花や植物等を植えました。'11年スタート



### 清掃活動

中国のシマノクンジャンの社員が参加し、地球環境を守るために、工場および周辺道路の清掃を行っています。'11年スタート



### 騒音監視

シマノクンジャン工場周辺の住宅地域における騒音による影響を抑え、職場環境の向上を目指すために、工場内の騒音を監視するシステムを構築しています。'99年スタート



### ウォータートリートメント

シマノクンジャンでは1997年から工場排水の浄化施設を整備しました。'97年スタート



### ビーチ・クリーンアップ

アメリカではカリフォルニア州ボルサ・チカ海岸での清掃活動に社員が参加しています。'03年スタート



### ライブリリースポートの提供

釣り大会におけるキャッチ&リリースをより確実にするため、特別なポートや計測システムをカナダで開催される大会に提供しました。'96年スタート



### ゴミの分別収集

ISO14001に準拠し1999年から実施しています。事業所、工場においてゴミを分別収集し、可能な限りリサイクルを行っています。'99年スタート



### シマノ・クリーンアップ・プロジェクト

「愛すべき私たちのフィールドのためにできること」を合言葉に、釣り場をきれいにするプロジェクトを実施しています。当社主催のイベント参加者はもちろん、一般の皆様にも賛同いただき、ともに清掃活動に取り組んでいます。'03年スタート

WEB SITE : <http://shimano.asa-pri.net/>



ジョホール市ボンティアンでの植林活動(シマノコンポーネンツマレーシア)



アース・デイ活動(シマノアメリカン)



ウォータートリートメント設備(シマノクンジャン：中国)

# 信頼の構築

—— 地域社会に企業市民として参加し協働する

子供達へ自転車の乗車スキルと共に、  
交通マナーを教えるワイラースクール(日本)



マダイの稚魚放流(日本)

地域社会とのコミュニケーションを密にし、企業市民として共存・共栄を  
図ることは、当社の理想とする企業姿勢です。  
日本はもとより、世界各地に拠点を置く地域社会の一員として、  
地域と一体となって取り組める活動を積極的に行っています。



ブラジルの若者に自転車整備を教える活動  
(シマノラテンアメリカ)

## こども達と学び考える



課題に対する提案のプレゼンテーション  
では「伝える力」も必要

### 小学校でのキャリア教育

'05年スタート

こども達が社会の一員として様々な問題に取り組み、生きるための力を育てることを目的とするキャリア教育。当社では2005年から、地元の小学校で特別講師を務めるなどの協力を実施しています。授業では自転車をテーマとした課題を設定し、企画立案から提案までをグループ単位で実習。課題解決の過程で、物事を論理的に考える力、判断材料を集める行動力、わかりやすく提案する能力、協力して働く力を身につけます。



## 安全で楽しい自転車利用を目指して



### ワイラースクールへの講師派遣

'08年スタート

ワイラースクールとは、こどもの自転車の操作技術の向上、楽しく快適にサイクルスポーツを楽しめる環境整備、そして競技人口拡大と世界に通用するサイクリストの育成を目的とした教室です。活動範囲は全国にわたり、2011年は40以上の会場で、約2,000人のこども達を対象に行われました。この教室に、自転車のテクニックや交通マナーを指導する講師として、シマノレーシングチームのメンバーを派遣しています。



### サイクルアカデミーの開催

'05年スタート

自転車ファンの底辺拡大を目指し、初心者や中級者、あるいはこども達に、ロードレーサーの基本的なノウハウや乗り方をレクチャーする活動です。シマノレーシングチームの現役メンバーが指導しています。



● **シンガポール共和国総領事館を開館**



シンガポール共和国の紋章

本社ビル2階に、シンガポール共和国総領事館が大阪市中央区より移設され、新たに開館しました(2011年11月1日より供用開始)。また島野容三社長が同国政府より任命を受け、シンガポール共和国名誉総領事に就任しました。当社は1973年に、シンガポール・ジュロン地区に初めての海外生産拠点としてシマノシンガポールを設立し、現在においても海外のマザー工場として重要な役割を果たしています。これまで様々なかたちでお世話になってまいりましたシンガポールに深く感謝し、当社として微力ながら恩返しができるれば、と考えております。



大阪府堺市にある本社ビル2階の受付



領事館内部

創業90周年を迎えて



ワイラースクールに提供した機材車は各地で活躍しています



当社は2011年3月に創業90周年を迎えることができました。これまでの感謝の気持ちを込め、さらなる自転車文化、釣り文化の高揚に向けた活動を行いました。

**ワイラースクールへの機材提供**

ひとりでも多くの子ども達に、自転車に乗る楽しみ、交通マナーや競技としての自転車の楽しみ方などを体感してもらうことを目的に運営されている「ワイラースクール」。その活動に必要な機材を運ぶための自動車や、子ども用の自転車、音響などの機材一式を提供しました。機材の提供とともに、シマノレーシングチームの選手も講師としてこの活動に協力しています。

**マダイの稚魚25万匹を放流**



地域の漁業協同組合様などのご協力を得て、大阪・山口・熊本・神奈川で行った稚魚放流は、自然に対する感謝の気持ちと、環境保全・資源保護に対する想い、さらにはこれからも多くの皆様に釣りを楽しんでいただきたいという願いを込めた取り組みです。

**東日本大震災への義援**



アメリカの赤十字社からの感謝状



当社主催の釣り大会「シマノジャパンカップ」においても義援金を募りました

東日本大震災において被災されました多くの方々に心よりのお見舞いを申し上げますとともに、犠牲になられた多くの方々のご冥福を深くお祈りします。当社は、被災者の救援および被災地の復興に役立てていただくため、義援金として1億円を拠出するとともに、釣り用の防寒着やアンダーウェア等(3千万円相当)を被災された皆様にご提供させていただきました。本社以外の海外拠点からもそれぞれの地域の赤十字社を通じて義援金を贈りました。



**医療支援団体への寄付**

ドイツで行われる自転車展覧会「ユーロバイク」期間中、当社の海外子会社であるPEARL IZUMI GMBH.は国境なき医師団に1,120ユーロ、がんや白血病を患い骨髄移植を受けた子ども達を支援しているTour Ginkgolに1,250ユーロを寄付しました。さらにドイツ障害者スポーツ協会およびドイツスポーツ援助財団に、サイクリング用とランニング用のシューズを寄贈しました。



寄付金を受け取るがん基金の創設者クリスティーン・ジャンン氏(左端)

**小児がん基金への寄付**

シマノヨーロッパは、白血病やがんを治療中の子ども達の支援を目的としたフランスのがん基金「A Chacun son Everest(それぞれのエベレストへ)」に、50,000ユーロを寄付しました。この基金の創設者は、20年ほど前に世界最高峰であるエベレストの頂上に到達した最初の女性、クリスティーン・ジャンン氏。自身が子ども時代に病を克服した経験もあり、子ども達が自分の夢を実現させ、それぞれの「エベレスト」に到達できるよう支援を行っています。

**地元の関係官庁への寄付**

シマノチェコでは、地元の私設消防隊、市警察などの関係官庁に対し、装備の充実や育成のために役立ててもらうよう、寄付を行っています。

'08年スタート

## 地域の一員として



### 🇯🇵 自転車のまちづくり支援

'99年スタート

堺自転車のまちづくり・市民の会が開催するサイクリングマップの配布や、自転車のマナーアップを目指す「さかい自転車デー」などの活動を支援しました。



### 🇲🇾 グリーンキャンペーン

'04年スタート

シマノコンポーネンツマレーシアの社員が、ジョホール市ポンティアンの小学校でグリーンキャンペーンを実施。2011年は、合計で8校およそ2,400人の生徒に対して、植物に関するレクチャーやスケッチの授業を行いました。



### 🇺🇸 学用品の提供

'11年スタート

新学期前の7月にG.Loomisの社員が、地元の子ども達のために学用品を提供しました。



### 🇧🇷 シマノラテンアメリカ(ブラジル)の活動

'11年スタート

#### ■ 自転車の環境創造

エンドユーザーを対象に、自転車の移動性、持続性、シクロツアー等の可能性についての公開討論会を、オピニオンメーカーを交えて開催しました。

#### ■ 自転車整備を教える活動

若者の就職支援、サイクリングの振興、労働力の育成のために、リオの若者に自転車整備の基礎を教える活動を行いました。



#### ■ 一般の方へのメカニックサポート

子ども達の自転車修理を援助し、自転車の仕組みの基本的理解を広める活動を実施しています。



#### ■ MTB&BMX用バイクパークの設置

大都市サンパウロの中心にあり、地域交流の場にもなっているバイクパークを支援しています。2012年は年間を通して青少年のためのトーナメントを開催予定です。



### 🇲🇪 自転車の普及を支援

'11年スタート

アルゼンチンのブエノスアイレスでメカニックサポートサービスを実施。地下鉄と列車の利用者に対する移動手段の代替として、自転車の普及を支援しています。



### 🇨🇪 オープンデイの開催

'11年スタート

シマノチェコは、地元であるカルヴィナ産業地区にある近隣企業と共に、地域の方に会社を理解していただくために開放する「オープンデイ2011」を開催しました。



### 🇺🇸 自殺予防を呼びかける自転車ライドを支援

'11年スタート

シマノオーストラリアは、自転車ライドを通じて自殺予防の意識向上を喚起する活動を支援しています。この活動を広めるため、オーストラリアのキャンベラからブリズベンまでの約1,600kmを走破しました。



### 🇩🇪 歴史自転車の展示会への協力

125年に渡る自転車製造の歴史がある、ドイツ・ビーレフェルトで行われている歴史自転車の展示会に協力しました。



### 🇮🇩 児童養護施設への寄付

'07年スタート

シマノバタム(インドネシア)では4ヶ所の児童養護施設を訪問し、寄付を行いました。



### 🇮🇩 献血の推進

'96年スタート

シマノバタム(インドネシア)全社で、186名が献血に協力しました。



### 🇸🇬 献血運動の実施

'95年スタート

シマノシンガポールでは、2011年に3回の献血運動を実施。この運動により160袋分の血液バッグが集まり、およそ450人の人々に役立てられました。



### 🇸🇬 地元コミュニティの自転車ライドを支援

'11年スタート

シンガポールのジュロンコミュニティが自転車ライドを開催。2008年以降STAMP(スポーツ教育指導プログラム)活動に積極的に関わるジュロン、シュカンおよびホンカ中学校の学生65名も含め、参加者全員が活力のある楽しい時間を過ごしました。



### 🇸🇬 自転車文化を広めるプログラム

'11年スタート

「健康、幸福そして調和のためのサイクリング」を目的とした3年間のプログラムをシンガポールのジュロン中学校でスタート。自転車の基本的な知識や安全なサイクリングの学習、正しい乗り方の講習など、自転車のある豊かな生活を提案していきます。

### 🇨🇳 養老院への訪問

'09年スタート

旧暦の9月9日の重陽節に、年長者を敬う古くからの習わしに従い、中国のシマノクンシャン(中国)の社員が養老院を訪れました。

## 社会活動報告書を読んで

2011年は国内外で欧州経済危機や大きな自然災害など、あらためて企業に社会的責任のあり方を問う年となった。その際、グローバルなビジネスを展開している企業ほど、チームとしての“絆(きずな)”によって、乗り切っていくのを見ることができた。チームシマノは業績を上げ、特に震災には義援金と防寒具等を提供し、さらに創業90周年記念事業などをやり遂げたことは大いに評価される。

CSRは企業が社会的責任を果たすこととされているが、本来意味するところは社会の要請に応えることであり、ダイヤモンド・サイド経営を求める概念である。ダイヤモンド・サイドとは単なる受け手としての顧客やユーザーではなく、共に価値創造するパートナーであり、“マネジメント3.0”における全人的で、ハートもマインドも持つ社会的存在である。本報告書では本業の製品づくりから、企業市民活動までそれを感得させる記述が多く見られる。

シマノの自転車部品、釣り具、ライフスタイル ギア、ボートの各事業に共通しているのは「人と自然のふれあいの中で」提供される製品が、「こころ躍る製品」として顧客・ユーザーの感動と精神的充足を得られれば価値となることである。そのことは同時に、こころだけでなく「からだの健康」にも有効性を提供することになる。「こころとからだ」を元気にしたいという、人々の社会的要請に応えることこそCSR活動と解釈できる。近年の自転車や釣り、また有機野菜などへの関心の高まりはヘルス志向のトレンドであり、東京・青山のライフ・クリエーション・スペース「OVE(オーブ)」が好評を博しているというのも頷くことができる。

報告書のなかで、シマノが「ひとづくり」に注力していることは印象的であった。例えば多国籍の社員に「シマノをささえる力」として世界で通用する英語の習得や技能、専門知識、思考法などの研修を座学と実習で推進している。社員の自転車通勤の促進は自社製品への愛着と信頼を増し、エコにも健康にも貢献する。また次世代のこどもへの自転車、絵画、環境など広範囲な体験型の学習活動を実施し、さらにキャリア教育やウィラースクールへの講師派遣など、人づくりの熱意が伝わってくる。

地球環境保全へのSGP(シマノグリーンプラン)は時代の変化に適すべく、各国の法規制、業界基準の遵守はもちろんだが、顧客の要求、すなわちダイヤモンド・サイドの要請により改善、改訂する姿勢が良い。ハードコントロールだけでなく、ソフトコントロールの視点は大切である。夏場の節電事情の中、本社や下関工場で省エネの実績をあげ、二酸化炭素排出量年間148.2トン削減する成果を挙げた。今後も続けて工夫し努力していただきたい。要は地球環境や社会に取り組む姿勢において、シマノの場合「企業の持続可能性」と言うより「環境や社会のサステナビリティ」に軸足を置いているのが感じられる。

また内部統制のあり方について、類似、近接する二つの業務部署が相互に監査しあう「クロスチェック」を導入したことは画期的である。外部から社内監査部門と共に、現場の部署同士で監査しあうことは業務の改善にもつながるのではないかと。但し馴れ合わない適度な距離が必要だろう。

最後に、今後日本やアジアなどで懸念される巨大な自然災害や感染症災害などにおける災害危機管理についての開示がほしい。特に事業継続計画(BCP)を策定して、サプライチェーンが途絶しない対策をとることが重要である。いまや災害危機に対しては企業だけでなく、地域市民や団体、公共機関、行政などが連携して対応するソーシャル・リスクマネジメントが求められている。昨年のタイ大洪水で明らかのように部材や加工組み立てなどへの影響は国境を越えて及んでくる。ガバナンスと共に多様なリスクに対応できるリスクマネジメント体制の整備は公表する必要がある。その安全・安心な基盤の上に価値が裏づけられ先駆的グローバル企業として、「こころ躍る製品」を欧米・アジアはもとより新興国や中南米・アフリカなど世界のステージに拡大できるのではないかと。

千葉商科大学/大学院教授 (社)日本経営管理学会代表理事・副会長

藤江 俊彦

## チームシマノ基本理念

本当によいものを世界の人々にお届けしたい——。  
それは創業者から受け継がれてきた私たちシマノの基本的な願いです。  
そして世界各国のスタッフから成るチームシマノは、  
共通の理念のもと、共通の目的と共通のプロセスで活動を展開しています。

### 会社の使命

人と自然のふれあいの中で、  
新しい価値を創造し、  
健康とよろこびに貢献する。

#### [経営の方針]

- お客様に信頼され、満足していただけるサービスと製品を提供する。
- 企業価値を高め、開かれた経営を約束する。
- 達成感と、よろこびを分かち合える、  
公正でいきいきとした職場づくりに努める。
- 社会の一員として環境を大切に、共に繁栄することを目指す。

#### [チームシマノの行動指針]

- 豊かな創造性をはぐくみ、たえず自己を啓発する。
- つねに技術の向上に努め、夢の実現に挑戦する。
- 大きく発想し、機敏な行動で着実に実行する。

**SHIMANO**  
[www.shimano.com](http://www.shimano.com)

株式会社シマノ

〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3丁77番地

広報部 広報課

Phone: 072-223-3957

Fax : 072-223-6045

2012年3月9日発行 ©2012 by SHIMANO INC. Printed in Japan XBC IZM K-013